

平成 21 年度日本マングローブ学会大会プログラム (於：東京農業大学 13 号館 2 階)

第一日目 (11 月 7 日)

Sonneratia 属マングローブにおけるプロトプラスト単離効率化のための条件検討

土屋慎平 (横浜国大) ほか

マメ科マングローブのカルス化とプロトプラスト単離・培養

井上 文 (横浜国大) ほか

Sonneratia 属植物の髄腔の形態に関する新知見

大田克洋 (東京農大) ほか

マングローブ林開発と修復に伴う環境変化と住民生活への影響 —タイ王国, サムットソクラーム県クローンコン地区の事例—

Kritmarorote Krittaluck (Hawaii Pacific Univ.) ほか

西表島の海側前縁部におけるマングローブ種の定着と立地環境

真栄城 亮 (横浜国大) ほか

特別講演

あいさつ 檜垣宮都 (東京農大)

講演者紹介 馬場繁幸 (琉球大・ISME)

Assessment of Community Capacity to sustain the Ongoing Mangrove Rehabilitation Programme in PaK Phanang Bay, Nakhon Si Thammarat, Southern Thailand

Siriwan Siriboon (Chulalongkorn University)

Ecological Assessment on the Success of Mangrove Restoration in Pak Phanang Bay, Nakhon Si Thammarat, Southern Thailand

Nittharatana Paphavasit (Chulalongkorn University)

総 会

懇 親 会 生協 カフェテリア・グリーン

第二日目 (11 月 8 日)

マングローブ植林地におけるメタンと一酸化二窒素放出量の推定

今村正裕 (電中研) ほか

マングローブ植物の根圏窒素動態

井上智美 (環境研) ほか

マングローブ氾濫源における有機炭素収支

立田 稔 (電中研) ほか

メヒルギ高密度植林地の自己間引き過程を考慮した炭素貯蔵量予測

石井 孝 (電中研) ほか

潮汐によるマングローブ林の水循環における 2 次クリーク

古川恵太 (国総研)

マングローブ物理学の現状

松田義弘 (元・東海大)

ベトナム、カンザ地区におけるマングローブ再造林プロジェクトと日越交流

石原修一 (帝京高) ほか

Pre-cyclone and Post-cyclone Growth Performance of Some Planted Mangrove Species on the Abandoned Agricultural Land in the Ayeyarwady Delta, Myanmar
Toe Toe Aung (横浜大) ほか

タイのマングローブ林に分布するシダ植物の生育特性

若川礼子 (東農大) ほか